



館 民 人 郡 司 社  
行 公 衆 郡 所 會  
所 部 民 人 郡 所 會  
北 川 郡 所 會  
北 洋 印 刷 株 式 會 社  
(西 蒲 卷 町 電 話 204) 番

### みたまの記

## 卷町文庫

夕やみがあたりをつつみ、がいのついで道を涼しい風が流れはじめた夜の七時すぎ私達は、巻町文庫を見に行きました。今日は七月二十九日水曜で文庫を開く日なのです。公民館の玄関へ入ると左手にある三坪ばかりの小さな部屋が文庫室です。

あまり見えないので仕事をしていた北川さんに質問しました。「一ヶ月どの位本を買ったのですか。」

「大体三、四十冊位買ったのです。同じ位な数と買う数と同じ位な数に質問したりしました。時間をたつにつれて本をかりる人がポツポツ入つて来ます。入つてくると、まつすすみへ来て係の人とちよつと話し、すぐもつて来た本をかえして行く。若い人もあれば、本だの前のに立つて自分の好きな本をさがしている中学生や若い女の人達もいます。小学生が一人ずつこにへばりついて寫眞をみています。どの本もどの本もつかれ果ててくたくたになつたかつかつた。よく見ると新しい本は

すが……。」「それで一時子供の本を買つたこともありますが学校にはよい図書館があるのでやめました。」「本を買う時はどの様に買うのですか。」

「今では館長さんと文庫の人達と私だけで相談して買います。本当はこういうものを買つてもらいたいという希望があれば一番よいのですがね。以前は授書箱を作つたこともあるんですがでたらめなことばかり書くのでやめてしまつたんですよ。」「図書を買うお話は役場からくるのですか。」

「そうですね。役場から来るお金は一年に八万円です。その他本を寄附して下さる方もあります。この文庫が生れた時は寄附による本が多かつたのです。昭和二十一年頃でしたがね、それから今の消防しよのある場所、それからここへうつつたのです。消防しよにあつた頃は下駄のまま気があるに、はいれたせいか一番利用者が多かつたようです。」

「さつき本がたたくさんなくなるといってお話でしたが……。」「そう、以前は学校へ名簿をもつていつたりはがきを出したりさいそくしたんですがね。今はそこまでやつていません。大体なくなるのは、又がしをやつたりきげんの一週間がすぎているのかえさないで、かえすのが大変おくれたからはずかしくてかえさないとか、又おこられやしないかと思つている人があつたらしいのです。本場にこまつた事です」と次から次へいろいろの事をお話して下さいました。時計は八時すぎましたので引上げることにしました。そして二かいへあがつて私達は三人の感想を話し合いました。

卷小六年一組  
内藤 頼子  
岡 直子  
平松 幸榮

## 卷町議会だより

一、七月中議会において執りあげた主要な事件は左の通りである。

① 舊税務署庁舎を大蔵省より拂下げを受け、町営診療所附属病棟を設置することに決して検討承認をなした。

② 兼てより要望のあつた国民金融公庫より生業資金の融資を受けることについて検討討、中小工業者の金融難緩和のためこれを利用することを承認、近く取扱いを開始することとした。

③ 大字赤館の水道給水について近く施行することとした。

④ 消防自動車ポンプの増設によるポンプ置場を改修増築することを承認、請負入札に附し近く着工することとした。

二、会議開催状況

1. 委員会  
七月七日  
消防常任委員会  
出席五名欠席二名  
七月十日  
水道常任委員会  
出席六名欠席一名  
七月二十一日  
産業常任委員会  
出席六名欠席なし

2. 本会議  
第四回臨時會  
出席二十二名欠席四名  
左の議件について審議  
原案の通り議決した。  
議第一号財産の所得  
並に營造物の設置に  
ついて  
議第二号昭和二十八  
年度巻町歳入歳出第  
四回追加予算  
七月二十七日  
第五回臨時會  
出席十七名欠席九名  
左の議件について審議  
原案通り議決した。  
議第一号巻町国民金  
融公庫利用條例の設  
置について  
議第二号国民金融公  
庫生業資金借入に対  
する担保差入れにつ  
いて  
議第三号巻町車庫札  
取付手数料徴収條例  
の設置について  
(誤記訂正先月号の  
追加更正予算累計を  
四〇、四〇八、八三  
八円、こちらの手違  
つき深くお詫び申上  
げ訂正いたします)

田圃に圃  
まれた土  
地に住む  
私共が、  
穫入れま  
での稲の  
成長を、  
丹精した  
農家の人達共々、見守  
つてやりたいものだ  
思う。▼仕事の都合や  
悪い習慣で、朝の遅い  
筆者も、夏だけは暑く  
て寝ておれない日が多  
い。そんな日には決つ  
たように前田圃へ出て  
蓮田道を鰻湯へ向つて  
ブラ／＼歩きをする。  
朝露をキラつかせて涼  
風にそよぐ遅い稲の  
姿に懐けると、青  
年期から壯年期に移る  
時代の、人間に似た息  
吹をさえ感ずる。▼お祭  
前まで、お世辞にも順  
調と言われなかつた稲  
が、昨今素晴らしい成  
長して、早生は既に穂  
ばらみを見せはじめ、  
その雄々しきにはウツ  
トリ見惚れるほどであ  
る。このさき風さえない  
ければます豊作型で農  
家は万々歳。▼巻の農家  
は稲作りの名人だが、  
米を穫るには極めて下  
手だという。実入りが  
進むにつれての倒伏、  
キンカクなど絶無にな  
つたらと、施肥、落水  
など青年期の教養で人  
柄が出来ると同様なん  
だがと思つたりする。

丹精した  
農家の人達共々、見守  
つてやりたいものだ  
思う。▼仕事の都合や  
悪い習慣で、朝の遅い  
筆者も、夏だけは暑く  
て寝ておれない日が多  
い。そんな日には決つ  
たように前田圃へ出て  
蓮田道を鰻湯へ向つて  
ブラ／＼歩きをする。  
朝露をキラつかせて涼  
風にそよぐ遅い稲の  
姿に懐けると、青  
年期から壯年期に移る  
時代の、人間に似た息  
吹をさえ感ずる。▼お祭  
前まで、お世辞にも順  
調と言われなかつた稲  
が、昨今素晴らしい成  
長して、早生は既に穂  
ばらみを見せはじめ、  
その雄々しきにはウツ  
トリ見惚れるほどであ  
る。このさき風さえない  
ければます豊作型で農  
家は万々歳。▼巻の農家  
は稲作りの名人だが、  
米を穫るには極めて下  
手だという。実入りが  
進むにつれての倒伏、  
キンカクなど絶無にな  
つたらと、施肥、落水  
など青年期の教養で人  
柄が出来ると同様なん  
だがと思つたりする。

丹精した

「さつき本がたたくさんなくなるといってお話でしたが……。」「そう、以前は学校へ名簿をもつていつたり

はがきを出したりさいそくしたんですがね。今はそこまでやつていません。大体なくなるのは、又がしをやつたりきげんの一週間がすぎているのかえさないで、かえすのが大変おくれたからはずかしくてかえさないとか、又おこられやしないかと思つている人があつたらしいのです。本場にこまつた事です」と次から次へいろいろの事をお話して下さいました。時計は八時すぎましたので引上げることにしました。そして二かいへあがつて私達は三人の感想を話し合いました。

卷小六年一組  
内藤 頼子  
岡 直子  
平松 幸榮

田圃に圃  
まれた土  
地に住む  
私共が、  
穫入れま  
での稲の  
成長を、  
丹精した  
農家の人達共々、見守  
つてやりたいものだ  
思う。▼仕事の都合や  
悪い習慣で、朝の遅い  
筆者も、夏だけは暑く  
て寝ておれない日が多  
い。そんな日には決つ  
たように前田圃へ出て  
蓮田道を鰻湯へ向つて  
ブラ／＼歩きをする。  
朝露をキラつかせて涼  
風にそよぐ遅い稲の  
姿に懐けると、青  
年期から壯年期に移る  
時代の、人間に似た息  
吹をさえ感ずる。▼お祭  
前まで、お世辞にも順  
調と言われなかつた稲  
が、昨今素晴らしい成  
長して、早生は既に穂  
ばらみを見せはじめ、  
その雄々しきにはウツ  
トリ見惚れるほどであ  
る。このさき風さえない  
ければます豊作型で農  
家は万々歳。▼巻の農家  
は稲作りの名人だが、  
米を穫るには極めて下  
手だという。実入りが  
進むにつれての倒伏、  
キンカクなど絶無にな  
つたらと、施肥、落水  
など青年期の教養で人  
柄が出来ると同様なん  
だがと思つたりする。

丹精した

丹精した

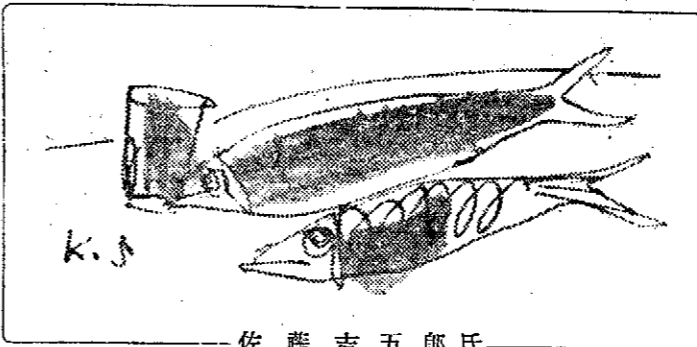
丹精した

丹精した

はきが回答

盛にやるべきか 益踊

星野 マチ 十区
一、奨励して盛にやるべきか
二、昔は今のようにと



佐藤吉五郎氏

二、巻甚句による踊りも出
来た現在今迄の益踊りは巻甚句踊りに改正して公民館と各店会共催で『巻甚句踊り』による

望ましいが時代の推移は肝腎の青年達のうちから懐古的な夢を根こそぎ取り去つてしまつた。文字通り『笛吹けど踊らず』

二、卑猥な歌詞を腰止して郷土色豊かな踊りを樂しめるようにしたい
幸田 久一 赤さび

い行事である以上、若い人達の反省を求め自然を得つより外にありません
一、青年 下町

呼びかけはよし等はもつと上品な微笑しもの改め健全で情緒豊かな益踊りに発展するよう大いに奨励してもらいたい
大いに教育者側の理解が欲しい

き方にかかつているのであり、そうすることによつて少しづつでも自分自身から幸福な状態に置かされるのが、貧乏からの解放が実現されてゆくものとしか考えられない。日本人の不幸の正体は過剰人口にあるのではなく根本的には日本の経済機構からくりの内に潜んでいることは誰もが知っていることである。いすれにせよ意識的に問題のピンポイントを、ギロンを展開されることは深慮至極なことであるし、無意識的なものならばもつと事象の本質を見極めてから発言していただきたいものだ。
菱の実ともあろう偉いお方が青二才達のもの笑ひになる様な軽率な言論は以後つしまれ



菱の実氏に

次 生

原稿募集

町民の聲・隨筆・小品文・短歌・俳句・詩その他(いづれも原稿用紙使用のこと)
宛先 公民館弘報部
(選擇については公民館弘報部にお委せ下さい)

時間厳守、明かるといふ集會



団体からの

おたより

公民館

巻町恒例の町民運動会も今年で第十五回となりまして。肌寒いしかも日の短い十一月より八月の農閑期が適当であるとの農家の申し出により又昨年の町民運動会反省会の席に於てもこの様な意見もあつたので各区分長さん始め運動関係者よりお集り運動会場を御相談申上げました。並に関係者多数が八月開催に賛成されまし

望ましいが時代の推移は肝腎の青年達のうちから懐古的な夢を根こそぎ取り去つてしまつた。文字通り『笛吹けど踊らず』
丸山 勘輔 一区
一、奨励して盛にやるべきか
二、高所を望まず低きに落ちず自然の姿のまま、朗らかに踊るはよろしく、尚益踊りの起源は佛法より出たる由なれば我々佛教徒においておや河治 忠夫 六区
一、奨励して盛にやるべきか
二、益踊りとは人間の良い面も悪い面も現わしているものではないと思ひます。その歌詞ややしには勿論是正すべき点は多々ありますがなんまり批判的にならないで、あたたかい眼で見たいと存じます。
長谷川要一 九区
一、郷土藝術として保存永続した方がよいと思ひ
二、聞くに堪えない音頭を改善して健全且つ明朗な益踊りにしたい
三、音頭の改善には公民館あたりが主体となり広く町民より募集したらどうか
坂上 俊男 赤さび
一、奨励して盛にやるべきか
二、夏夜の抒情として益踊りの復興こそ

用は可なるも家畜の生命を奪う薬劑であるので充分の注意をするよう要望された。
八月一日新潟博団休見學
八月四日漆山地区クラブ連盟主催で長野県の農業技術を観察した。
八月五日新潟博団休見學
八月七日定例総会を開き、後創立十周年記念樹安会を開く。
八月月中旬青年部で礼法の活け花、たみもの講座を開く予定
◎興農協協賛会主催の動力噴霧機作業大会が七月二十四日巻高校北校舎前庭で開催され、校チームは二位となり

卓球は小学校、排球は農学校、籠球は中学校に於て午前十時よりそれぞれ開始された。各チームともに制覇への野望強く汗と泥にまみれて終始熱戦を展開した。成績は
◎籠球 決勝 燕53-37巻
◎卓球(リーグ戦) 男子 ①坂井輪②巻 ③黒崎
女子 ①黒崎②島上 ③巻
◎排球(女子) 決勝 燕2-0黒崎

卓球は小学校、排球は農学校、籠球は中学校に於て午前十時よりそれぞれ開始された。各チームともに制覇への野望強く汗と泥にまみれて終始熱戦を展開した。成績は
◎籠球 決勝 燕53-37巻
◎卓球(リーグ戦) 男子 ①坂井輪②巻 ③黒崎
女子 ①黒崎②島上 ③巻
◎排球(女子) 決勝 燕2-0黒崎

分、三十分と待たされる其の人の損失は一体どうなるのでしょうか。お互が集會其の他に於て時間を守ることは人々が得をすることでも生活改善への第一歩でもある。このような意味から時間に対する認識を新ためたい。
七月の集會状況 (日 遅れた時間 開会予定)
○分 七時三十分 町民運動會打合せ會
八日 八時 八時 八時
○分 八時 八時 八時
弘報部会議 二十一日 十五分 八時
時事解説 二十六日 三十分 八時

遊び場について
西川 てる
先月十八日栢崎市の子供の遊び場見学に多数の参加を希望するよう公民館の廻覧がありました事は皆懐御存じのことと思ひます。それが何かの都合で御流れになつたの由、大きな期待をして居りましたに取つかえしのつ



生活改善の第一歩
一寸新潟とか東京とか乗物を利用するよう旅行や又自己の利害関係については例外なく時間には、きちんと間にあつた。またま公民館や役場、小学校等

一寸新潟とか東京とか乗物を利用するよう旅行や又自己の利害関係については例外なく時間には、きちんと間にあつた。またま公民館や役場、小学校等

分、三十分と待たされる其の人の損失は一体どうなるのでしょうか。お互が集會其の他に於て時間を守ることは人々が得をすることでも生活改善への第一歩でもある。このような意味から時間に対する認識を新ためたい。
七月の集會状況 (日 遅れた時間 開会予定)
○分 七時三十分 町民運動會打合せ會
八日 八時 八時 八時
○分 八時 八時 八時
弘報部会議 二十一日 十五分 八時
時事解説 二十六日 三十分 八時

# 生ねん

中村周一

謹啓梅雨の候となりまして、連日、うつと日がつづきますが、皆様方お揃いでお健斗の御事とお慶び申上ます。

さて今度思わざるなつかしい巻町の様子をおきかせ下さい(公民館報まき)何よりもなつかしく拜見させていただきます。

「夕食後のひととき」「PTAの不振」「団体からのおたより」など色々と考えさせられる事が多くありました。

丁度ねたままで居りますので南博著の中

## 水野浩著 日本のはな

A 生

聞いただけでもつばのはなだけなる『パンパン』私だけでなく、一般の方々も恐らく、そうである様に、青少年に与える影響を考える時、軽蔑と苦々しい想いで内心顔をそむけるであらう。

しかしながら『パンパン』を軽蔑する方々は、老若男女を問わず、一度この本

国を讀んだり週間朝日の中国みたままがまだ記憶にもありますが日本の現状について色々考えています。PTAの不振については町の方々は御遠慮なさつていらつしやるのではないでしようか。実をいいますと、不振の原因についてはもう一つ重大なるものがあるのではありませんか、即ちマンネリズムにおちいつて熱意を失つたT側です、いやこ

## 夏休みと子供たち

巻小 中川スミ子

夏休みになる一週間前あたりから、そろつと夏休みについての指

を讀んで見て下さい。きつと、私の様に、今までと違つた考えをもつことでしょう。編者はあと書の中



## 読書室

の十一％は処女だといふのではない、ただ自分がその事実を知らないだけだ。別に統計をとつて

に、私達にうつたえておられます。この基地に勤める日本人の女の八十九％は処女でない、といつて他

れが最大なのではありませぬか。このつぎも出来たらお送り下さい。小生不幸にしてこんな病氣になりこの春又少し悪化しまして、いつ退所出来ませぬか不明です、一日も早く全快して御町にでも遊びに行ける日を夢みております。

一日々々子供達はどんなにか愉快に生活する事であろう。私はよくお母さんたちから「ほんとうに夏休みになると子供がうるさくお金ばかり使つて夏休みなどない方がよい」などという言葉をきくことがある。私はそれらのお母さん達に「そんな事をいわないで下さい」といいたい。子供達は長い夏休み

を守らうとしても、日本のケイサツ官迄御手傳している今日果して私達の妻や子や、戀人の純潔をだれが保証出来るであらうか? 性病や風紀が、根本問題だとは思はれません、もつと、根本問題を研究し、今からでもおそくないと思ひます、人間の尊厳と日本の純潔を守る、大家族運動を展開する足場としておすすめた一冊と思ひます。

つて経験し得ないろく／＼な事柄を、小さなからだ一杯に経験してゆくのである。試みに今私の少女時代をふりかえつてみて一番たのしかったのは夏休みである。そして五日間の海の生活によつてほんのわずかではあるが水泳をおぼえたのも、自轉車に乗れる様になつたのも夏休みである。その外夏休みのたのしい思い出はつきない。

だから経済の許す範囲内により出来るだけたくさんゆたかな経験を持たせてやりたい。の私は思う。小学校時代のとんぼとり魚おさえ海や山での一日、たわむれにも似た夏休み経験は又段階をおうてキャンブや登山なども発展し、豊かな明るい人間性を造り上げられるのではなからうか。夏休みが終ると同時に子供達は自分達の新しい経験を繪に表し文に綴り口をとがらせながら話してくるであらう。それを今からたのしみにしている。

たどえそれがつたないものであつてもそれよりもうどうか夏休みをせよ一杯たのしくすこやかに過ごすことを祈つて

## ぼんおどり

一、村々困窮に付盆踊りの儀に付御書付之事当組の儀は去冬よりの困窮にて度々御上の願御苦労にも候えども、盆踊の義差留可然やも存じ候へども、當時作方も可也に相見候えば、宥の内子供踊の義其分に差し置き候。もつとも去年中御觸れも有之間踊りの場所にて太鼓三味せん等の囃子は申すに及ばず、踊支度花美の染もやうしほり等の着物無之様御申付之有るべく候、此の段御役所より仰つけられ候に付申し觸れ候心得違ひ無之様御取り計いなさるべく候已上

## 煙火

昭和廿八年度巻神社大祭奉納煙火大会を舉行するに当りまして各区长さん始め町民各位並に町内外の會社、諸團體より絶大なる御協力を得まして予期以上盛大に而も事故もなく無事終了させて頂きました事について協會に寄せられました御厚意に對し紙面をかりて謹んで厚く御礼申上ます

右の通り一統申合せ候に相觸れ候間、於村々未々まで能く御申し聞かせるべく候已上  
七月十日 刺元  
右の一文は小学校に保管してある明和元年(一七六四)から寛政十年(一七九八)に至る三十年間の公文書を寫し綴つた『日記書抜留』の一節である。  
辰とは天明四年(一七八四)の日本國中餓死者の出なかつたのは米沢和歌山他数藩にすぎないといわれた天

仕掛	六本
早打	九本
この金額	二九五、二〇〇円
巻町煙火師一同より	〇円
合計	三〇〇、二〇〇円
支出額	二七四、五〇〇円
煙火代金	二七四、五〇〇円
協會の煙火代	七、三五〇円
諸経費	一八、〇一五円
合計	二九九、八六五円
差引残額	三三五円

## 甲

- 竹部 梢氏(六〇)
- 七区 七月二日
- 渡辺正一氏(一一)
- 一区 六月三〇日
- 石田リツ氏(六六)
- 二区 七月六日
- 鳥山リモ氏(七五)
- 三区 七月六日
- 久保田勝普氏(一一)
- 九区 七月七日
- 佐藤三世吉氏(二八)
- 八区 七月一日
- 山田ミ子氏(七二)
- 四区 七月二日
- 小林ハル氏(五三)
- 二区 七月二六日
- 水倉七太郎氏(五三)
- 一区 七月二七日
- 石井ソノ氏(七九)
- 二区 七月三十一日
- 野中仁太郎氏(六四)
- 十四区 七月三十一日

祭禮煙火會計報告  
 卷町煙火協會  
 御寄附額

三寸	八六本
四寸	三三本
五寸	三七本
七寸	五八本
尺玉	九本

全運営委員長 井沢 一二  
 本間 代吉